

2006年防災教育チャレンジプラン最終報告書

記入日 2007年 1月 31日

I 概要

実践団体・担当者名	子育てヘルパー遊☆きっず倶楽部 (担当者：加藤正樹)	
連絡先	090-3043-0250 / 03-3332-3334	
プランタイトル	災害発生！ママ・パパ・地域が子どもを守る！！ 『防災アドバイスと子ども救命救急法講座』	
目的	テキスト作成とワークショップの開催により、保護者、自治体、地域住民に対する「子どもに関する防災意識」向上の呼びかけと教育モデルの提供を行う。	
プランの概略	乳幼児への救命救急法と育児世帯の日頃の備えについてテキストを作成し、ワークショップを通じて理解を促します。 後援／地方自治体・社会福祉協議会ほか 協力／保育園・幼稚園・子どもNPOほか 形式／講座形式 場所／公共施設（セシオン杉並・市民協働センターほか） 対象／未就学児を持つ保護者及び子育て支援関係者ほか 広報／市報・一般紙、チラシ、インターネットほか 備考／すべて託児付で行います（各回15名まで）	
プランの対象と参加人数	学齢前の子どもの保護者、地域 定員／各回40名（×3回＝計120名）	
実施日時	2006年11月18日、23日、25日 2007年1月23日、2月5日	
主な実施場所	・ コモンリード西荻※子育てヘルパー遊☆きっず倶楽部事務所 ・ ・	
連携した団体名、 連携の方法	連携団体の有無	有
	連携した団体名	ABCRescue クライストマザーズ
	連携したきっかけ・理由	ABCRescue…防災に取り組むNPOとして、専門性を提供していただきました。 クライストマザーズ…子育て当事者のボランティアグループを通じて、ワークショップ参加者を募集しました。
	連携団体へのアプローチ方法	日常的な関わりの中で、一緒に活動できる企画を考えています。
	連携団体との打合せ回数	ABCRescue × 10回以上 クライストマザーズ × 3回
	連携団体との役割分担	遊☆きっず倶楽部…企画・全体調整・託児 ABCRescue…講師・テキスト編集 クライストマザーズ…PR・参加受付※武蔵野開催分のみ

Ⅱ プラン立案過程

プラン立案 メンバーの 人数・役割	団体内のスタッフ総人数	3 名
	外部スタッフの総人数	0 名
	主なメンバーの 役職・役割	加藤正樹 … 代表、全体調整 田村晃一 … 地域福祉コーディネーター 鈴木純平 … 経営コンサル ※定例会中の発案なので、企画段階の役割分担はありません。
プラン立案に要し た日数・時間	立案期間	2005年12月14日 ～ 2006年 1月11日 ※毎月第2水曜日が定例会
	立案時間	2時間× 2回
	上記のうち打合せ回数	2回
プラン立案で 注意を払った点 工夫した点	地域の子育て家庭のニーズの有無を把握すること。 消防関係以外の講師探しをすること。	
プラン立案で 苦労した点	特にありません。	

Ⅲ 実践にあたっての準備

準備に関わった方 と人数・役割	団体内のスタッフ総人数	2 名
	外部スタッフの総人数	2 名
	主なメンバーの 役職・役割	遊きっず倶楽部 加藤正樹 … 企画・調整（渉外）・広報 鈴木勇太 … 託児調整 ABCRescue 板垣毅 … 講師・テキスト編集 クライストマザーズ 佐々木民枝 … 広報・参加受付※武蔵野開催分のみ

準備に要した日 数・時間	準備期間	2006年 7月 日～ 11月 日
	準備総時間	総時間：60時間 内訳) 2時間× 15回 その他、書類作成や渉外等 30時間
	上記の内打合せ回数	15回 (ABC×10回、クライスト×3回、三鷹市×2回)
教育関係への 働きかけ	働きかけた教育関係者・ 機関名	なし
	どのように働きかけたか	
	結果	
地域への 働きかけ	働きかけた地域の人・ 機関名	クライストマザーズ 吉祥寺南町コミュニティセンター運営協議会
	どのように働きかけたか	日常的な関わりの中で開催に関する相談をしました。
	結果	クライストマザーズ…クチコミを中心に子育てしている母親 の参加を呼びかけました。 吉祥寺南町コミュニティセンター運営協議会…会場提供をし ていただきました。
保護者・PTAへ の働きかけ	働きかけた保護者・ PTA組織名	なし ※学齢前児童の保護者が対象のため
	どのように働きかけたか	
	結果	
機材・教材の 準備方法	用意した機材・教材	オリジナルテキスト ダミー人形等救命救急法講座用機材 AED プロジェクター パソコン 託児キッド(マット、おもちゃ、救急道具等一式)
	入手先・入手方法	上記はすべてコンソシアム内の団体所有物です。 ※テキストは本助成による成果物。
	機材・教材選定の理由(な ぜこの機材・教材を選ん だのか)	託児付ワークショップの内容に合わせて。

参加者の募集	募集方法	秋開催…保育園・幼稚園・児童館等へのチラシ配布およびインターネット上の広報。 冬開催(追加分)…上記に加え、クチコミ、自治体報、FM ラジオにより募集。
	募集期間	秋開催 2006年10月 ~ 11月 冬開催 2006年12月 ~ 2007年1月
	参加予想人数	120名 (@40名×3回) ※秋開催分について
	実際の参加人数	<u>総計76名</u> 内訳) 秋開催 計16名 (8+6+2) / 3回 冬開催 計60名 (31+29) / 2回
	募集方法の成功点	冬開催(追加分) 自治体やネットワークへの働きかけが上手く機能し、対象者との接点が非常に多くなり、定員以上のリアクションが得られました。
	募集方法の失敗点	秋開催… 自治体の支援がなく、また季節的にも、学校や地域の行事と日程の重複が多かったようです。 なお、保育園・幼稚園・児童館等へのチラシ配布を行いました が、自治体の後援がなく参加費があるため、公立施設の多くで配布していただけませんでした。
準備で苦労した点・工夫した点	自治体との協力関係が築けず、苦労しました。 自治体の「後援」を得るのではなく、「共催」や防災訓練でのプログラム採用をお願いしたのですが、実現できず、秋開催は単独開催に担ってしまいました。その後も継続して専門機関や外郭団体と交渉しましたが、結果多くの自治体で開催を見送られてしまいました。 なお、ほとんどの理由が「NPO との共催事例を作ると他団体からの企画持ち込みも断れなくなるため」「防災は or 子育て支援は、私たちの管轄ではないため」などといった、企画や団体に対する評価以前のものでした。	

Ⅳ タイムスケジュール（プラン立案から実践終了までのスケジュールを記載して下さい。）

	プラン立案	実践にあたっての準備	実践
2005 11月			
12月	■企画会議①		
2006 1月	■企画会議① ■申請書作成・提出		
2月			
3月			
4月			
5月		■テキスト作成開始	
6月		※ 渉外・打合せ随時 ↓	
7月			
8月			
9月			
10月		■テキスト原稿入稿 ■ワークショップ広報・受付開始	
11月		■テキスト納品 ■ワークショップ開催 (秋開催、11月18日、23日、25日)	
12月		■ワークショップ広報・受付開始※追加分	
2007 1・2月		■ワークショップ開催 (冬開催、1月23日、2月5日) ■ネットにおけるテキスト公開	

VI実践後

参加者へのアンケート結果	アンケートは実施していません。	
成果として得たこと	適切に広報した結果、子どもを保育園に預ける前の、乳幼児の母親層のニーズが高いことが再確認されました。 私たちの実践内容はユニークな内容ではありませんが、お母さんたちにとって身近な環境での防災教育推進に寄与していると考えています。 来年度以降、自立して活動展開していけるものと考えています。	
成果物	（学習指導案、指導計画書、配布物、ワークシート、報告書、掲載記事等。 データがあればデータファイルを貼付して下さい。） 別添データ（テキストPDF版）をご参照ください。 ただし、ウェブで公開するテキストは、最新のものと差し変わる予定です。	
広報方法	広報した先	自治体・保育関係機関、
	広報の方法	チラシ配布
	取材にきたマスコミ	アサヒタウンズ FM西東京
	広報された内容（掲載された記事・番組等）	いずれも開催前につき、開催案内の内容でした。
	成功点	参加申し込みにつながりました。
	失敗点	
全体の感想と反省・課題	ニーズの掘り起こしと自治体から評価を得られる足がかりを得られましたので、別添パンフレットおよび出張プログラムの内容で、継続したプログラム提供を目指します。	
今後の予定	来年度以降の進め方	ABC Rescueとの協働により、出張プログラムとして開催を継続します。
	是非実施してみたい取り組み	自治体への働きかけをし、防災訓練時のプログラム採用と、テキスト・地域版の印刷⇒出生届出時の無償配布を実現に向けて取り組みます。
自由記述	単年度で実現できなかったことも、継続して取り組みます。 助成期間は終了しますが、今後ともよろしくお願いします。	

